2018　レポート課題

北海道情報大学通信教育部

【 目次 】

教職概論 …… 209
教育原理 …… 210
教育心理学 …… 211
教育制度論 …… 212
教育社会学 …… 213
教育課程論 …… 214
情報科教育法Ⅰ …… 221
情報科教育法Ⅱ …… 225
商業科教育法Ⅰ …… 229
商業科教育法Ⅱ …… 230
数学科教育法Ⅰ …… 231
数学科教育法Ⅱ …… 232
数学科教育法Ⅲ …… 235
数学科教育法Ⅳ …… 238
数学科教育法Ⅴ …… 239
道徳教育の理論と実践 …… 242
特別活動論 …… 243
教育の方法と技術 …… 244
生徒指導 …… 245
進路指導 …… 246
学校教育相談 …… 247
特別支援教育論 …… 248

教　職　概　論	担当教員：河　井　由　佳	２単位

設　題

次の５問から１問を選択して、必要に応じて図表等を用いて、2,400～3,600 字でまとめなさい。最後に参考文献・資料（閲覧年月日を明記した URL も含む）を必ず挙げなさい。なお、図表中の文字、参考文献・資料は字数には含めないこととする。

レポート作成の際は、下記の注意事項を確認するとともに、レポート・論文の書き方についての書籍（たとえば、参考書として記載している書籍）を参照し、自分の考えを述べる（論じる）ことについて理解した上で取り組むこと。また、提出前には、日本語表現の正確性・適切性を確認するために、複数回、音読しながら推敲を重ねてください。

設問１：自らが教員採用選考試験を受験しようと思う自治体の教育委員会のホームページを参照し、その自治体が求める教師像の特徴を、他のもう一つの自治体（任意で選び）が求める教師像と比較しながら述べなさい。

設問２：自らが教員採用選考試験を受験しようと思う自治体の教育委員会のホームページを参照し、その自治体の教員採用選考試験の特徴を、他のもう一つの自治体（任意で選び）の教員採用選考試験と比較しながら述べなさい。

設問３：自らが教員採用選考試験を受験しようと思う自治体の教育委員会のホームページを参照し、その自治体の教員研修制度の特徴を、他のもう一つの自治体（任意で選び）の教員研修制度と比較しながら述べなさい。

設問４：自らが教員採用選考試験を受験しようと思う自治体の教育委員会のホームページを参照し、その自治体の教員評価制度の特徴を、他のもう一つの自治体（任意で選び）の教員評価制度と比較しながら述べなさい。

設問５：上記の設問１～４（求められる教師像、教員採用選考試験、教員研修制度、教員評価制度）のいずれか１つについて、その日本的な特徴を、アジア諸国（１ヶ国を任意で選び）の場合と比較しながら述べなさい。なお、アジア諸国の場合については、参考書として挙げている『アジアの教員』などを参照のこと。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：本学通信教育部の標準フォーマット
筆　記	筆記用具：特に指定しない。
	用　　紙：特に指定しない。
文字数等	2,400 字～3,600 字・横書き
注意事項	①　参考文献・資料（閲覧年月日を明記した URL も含む）を必ず明記すること。 ②　文字数を必ず明記すること。 ③　設問を十分に理解した上で、必要な情報を収集し、自分の考えを述べなさい。 ④　参考文献･資料を引用したり､参照して書いたりした文章には､必ず脚注を付すこと。 ⑤　上記①～④が満たされていない場合、レポートの条件を満たしていないと判断し、不合格とする。

教　育　原　理	担当教員：中　村　正　巳	2単位

設　題

設問Ⅰ　「学習プリント集」の「教育原理」学習計画の演習問題からの以下のように出題します。ご自分の考えも添えて書きなさい。（各設問 400 字程度）

① (1)から(3)の単元の演習問題、①から⑨より１つを選び、テキストや他の文献から理解した解答を書きなさい。

② (4)から(6)の単元の演習問題、⑩から⑯より１つを選び、テキストや他の文献から理解した解答を書きなさい。

③ (7)から(9)の単元の演習問題、⑰から㉓より１つを選び、テキストや他の文献から理解した解答を書きなさい。

設問Ⅱ　プリント学習を終えて、読んでみたくなった学校教育に関する著書を１冊読破して、理解し気づいたことや意見を書きなさい。（1000 字程度）
（試験に出題予定）
（必ず、著書の題名、著者、出版社、発行年を記入すること）

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　記	筆記用具：ボールペン（黒）・鉛筆・シャープペンシル（HB）
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙
文字数等	設問毎に指定、横書き
注意事項	・テーマを的確に理解して、適当な段落で文章を構成すること。 ・テーマの内容は教科書だけでは十分に答えられないものもある。他の文献などにもあたり、作成すること。 ・教科書又は他の文献の丸写しは不可です。自分が理解した言葉で書きなさい。 ・必ず作成した原稿を読み返して、誤字・脱字等のないように留意しなさい。

教　育　心　理　学	担当教員：佐　藤　公　治	2単位

設　題

以下の各設問をレポートにまとめて下さい。なお、各設問とも 800 字 ～ 1,000 字程度にまとめて下さい（字数を超過しても構いません）。

1．教育心理学の性質と学問的課題について、日本の教育心理学の戦前、そして戦後の歴史的変遷を通して論じて下さい（テキスト第１章）。

2．日本の教育改革の動きと学力を巡る論争についてまとめて下さい（テキスト第２章）。

3．発達と学習のそれぞれの分野毎に新しい研究としてどのようなことが言われているかをまとめて下さい（テキスト第３章）。

4．認知心理学では学習と学習の動機づけをどのように考えているか、その要点をまとめて下さい（テキスト第４章、第６章）。

5．ピアジェの発達理論とヴィゴツキーの発達・教育理論のそれぞれの特徴と、両者の違いをまとめて下さい（テキスト第５章）。

6．教科の学習で学習者はどのように知識と理解を進めていくかをテキスト第７章、第８章、第９章のどれか一つを選んでその要点をまとめることと、学習者の理解と知識獲得のために必要な指導のあり方について述べて下さい（テキスト第７章、第８章、第９章）。

7．授業を協同学習（協調学習）としてみていく考え方についてまとめて下さい（テキスト 10 章）。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　記	筆記用具：ボールペン（黒）・鉛筆・シャープペンシル
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙
文字数等	各設問 800 ～ 1,000 字程度・横書き

教　育　制　度　論	**担当教員：**高　島　裕　美	2単位

設　題

テキスト及び他の資料収集により、次の二つの設題について論述するとともに、それぞれについての**課題**をあげ、それらの課題解決方策についてどうすべきか、あなたの考えを述べなさい。

１．公教育制度の基本原理として子どもの「教育を受ける権利」の保障が求められる。外的側面は義務性、無償性がある。また内的側面としては中立性がある。それぞれについて解説するとともに、あなたが考える義務性、無償性、中立性の**課題**をあげ、その解決方策について述べなさい。

２．保育制度、児童期及び青年期の教育制度、それぞれの特徴をあげ、改革課題について述べなさい。また、改革課題の解決方策についてあなたの考えを述べなさい。

注）解決方策については、あなた自身の考えを述べなさい。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　記	筆記用具：ボールペン、万年筆（黒・青色）
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙
文字数等	各設題毎に 800～1,200 字（図表は含まない）・横書き
注意事項	論述内容について「見出し」を付けてほしい。 例） １．教育制度の成立 …… …… ２．教育制度の意義 …… …… 項目を定め、論理的に記述してください。

教　育　社　会　学	担当教員：尾　川　満　宏	２単位

設　題

設題

教科書第１章などで紹介されているＰ．アリエスの著作『〈子供〉の誕生』について、その主張と意義の要点を述べなさい。その際、「大人」「教育」「近代」というキーワードを必ず用いて、キーワードには下線を引くこと。

※　下記の作成要領にしたがうこと。とくに、文字数が大幅に不足している場合や、大幅に超過している場合は、不合格となる場合がある。
※　箇条書きなどの資料形式ではなく，論文などのような論述形式とすること。
※　文法的に正しい文を書くよう心がけること。少なくとも３回は自ら読み返し、十分にチェックしたうえで清書・提出すること。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　記	筆記用具：特に指定しない
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙（横罫のみ）
文字数等	600 字程度（図表を含まない）・横書き

教　育　課　程　論	担当教員：椿　　達	２単位

設　　題

次の２題について答えてください。

1 「各教科等と総合的な学習の時間の役割を明確にしながらも、両者の関連を意識して実践していくことがきわめて重要である」（教科書Ａ，p. 141）とあるが、このことについて、教科書の内容をまとめ、説明しなさい（第 10 講の演習課題 10-1）。

また、現実的には学校現場からは「総合的な学習の時間は、進路講話・インターンシップ・見学旅行事前準備学習など行事等の読み替えに多くの時間を費やし、必ずしも本来的な目標を達成するような学習活動になっていない」という実態の報告もある。特に高校では教科・科目の壁が存在し、互いに踏み込まない教科の専門性があったり、教員は教科指導の他にも多くの仕事を抱え、時間的な余裕もないなど、充実した総合的な学習の時間を実施するためにはかなり高いハードルがあると言われている。しかし、次期学習指導要領では「学習の基盤となる資質・能力の育成するためには、教科等横断的な学習を充実をする必要」とすることから、各学校には「総合的な学習（探究）の時間」は現行の実施状況を検証し、内容の再検討を進めていくことが求められていくことになる。このことについて、あなたの小・中・高校での授業体験も踏まえて、学校はどのように対応すべきであると考えるか、あなたの考えを述べなさい。

2 学校研究のレポートを作成し提出しなさい。

（作成上の留意事項）

- 出身高等学校の学校情報（学校要覧または学校ホームページ参照）をもとに次ページ以降にある様式で調査し作成する。
- 複数の学科がある場合は，自分の卒業した学科のみでよい。
- 出身校が廃校や統合、学科改編などの事情がある場合は他の高等学校（たとえば統廃合後の学校や教育実習予定校など）や他学科を選択して行う。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部標準フォーマット（A4 縦判）・コピー用紙等（無地）
筆　　記	筆記用具：ボールペン（黒） 用　　紙：コピー用紙等（無地）
文字数等	■　字数は制限なし. ■　通信教育部標準フォーマットの形式に従って作成・印刷すること.
注意事項	■　１行目に学籍番号，氏名を明記する. ２行目：　空行 ３行目から解答内容の記述. ■　課題2は次ページ以降にある学校研究の様式を印刷して（もしくはワープロ上で作表するなどして），それに必要事項を記入し提出すること. ■　解答に教科書以外からの文献等の参考や引用があれば，各設問の解答の最後に必ず「参考・引用文献」を記述すること.

教 育 課 程 論

資　料

学校研究　　学籍番号（　　）氏名（　　）

研究対象となる高校名　　（　　）**高等学校**

1　学校概要

（1）所在地、電話番号

〒　　－

TEL　　（　　）

（2）教職員数、生徒数

教職員数（　　）、生徒数　1年（　　）2年（　　）3年（　　）定通（　　）

総計　（　　）

（3）生徒の実態（気質など）

（4）進路状況

（5）地域環境

（6）保護者の状況（職業、気質、学校に対する要望、学校に協力的など）

（7）部活動の実態

（8）学校の特色

2　学校の教育目標

（1）

（2）

（3）

（4）

3　重点課題（学校課題）

（1）

（2）

（3）

4　経営方針

（1）

（2）

（3）

5　教育課程の編成方針

（1）

（2）

（3）

6　指導上の重点事項

学習指導	
生徒指導	
進路指導	
健康・安全指導	

7　教育課程表

学科	普　　通　　科				
教科	学　年 科目・標準単位		1　年	2　年	3　年
国語	国語総合	4			
	国語表現	3			
	現代文A	2			
	現代文B	4			
	古 典 A	2			
	古 典 B	4			
地理・歴史	世界史A	2			
	世界史B	4			
	日本史A	2			
	日本史B	4			
	地 理 A	2			
	地 理 B	4			
公民	現代社会	2			
	倫　　理	2			
	政治・経済	2			
数学	数 学 Ⅰ	3			
	数 学 Ⅱ	4			
	数 学 Ⅲ	5			
	数 学 A	2			
	数 学 B	2			
	数学活用	2			
理科	科学と人間生活	2			
	物理基礎	2			
	物　　理	4			
	化学基礎	2			
	化　　学	4			
	生物基礎	2			
	生　　物	4			
	地学基礎	2			
	地　　学	4			
	理科課題研究	1			

保健体育	体　　育	7～8			
	保　　健	2			
芸術	音 楽 Ⅰ	2			
	音 楽 Ⅱ	2			
	音 楽 Ⅲ	2			
	美 術 Ⅰ	2			
	美 術 Ⅱ	2			
	美 術 Ⅲ	2			
	書 道 Ⅰ	2			
	書 道 Ⅱ	2			
	書 道 Ⅲ	2			
	工 芸 Ⅰ	2			
	工 芸 Ⅱ	2			
	工 芸 Ⅲ	2			
外国語	コミュニケーション英語基礎	2			
	コミュニケーション英語Ⅰ	3			
	コミュニケーション英語Ⅱ	4			
	コミュニケーション英語Ⅲ	4			
	英語表現Ⅰ	2			
	英語表現Ⅱ	4			
	英 語 会 話	2			
家庭	家 庭 基 礎	2			
	家 庭 総 合	4			
	生活デザイン	4			
情報	社会と情報	2			
	情報の科学	2			

総合的な学習の時間		3～6			
特別活動	ホームルーム活動	3			
単位数合計（卒業単位数）					

8　添付資料

※教育課程表他レポート作成に使用した資料名と資料、インターネットHPの利用の場合は
URLアドレスを記載する。

（1）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（2）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（3）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

情 報 科 教 育 法 Ⅰ	担当教員：櫻　田　昭　夫	２単位

設　題

次ページ以降の問題を解くこと。

作成方法は「筆記」のみ

筆　記	筆記用具：ボールペン(黒色)・鉛筆・シャープペンシル(ＨＢ・Ｂ)、「サインペン・筆ペン」の使用は認めない
	用　　紙：次ページ以降の問題文のあとにある専用解答用紙を印刷して使用すること
注意事項	丁寧に読みやすい字体で書くこと。

情報科教育法Ⅰ　レポート課題(H30)「**レポート採点票**の**レポート課題欄**に必ず **H30**と書くこと」

教科書及び学習用プリントを参照して、以下の文章の（　　）内に入れるべき最も適切な語句を解答用紙に記入し、提出せよ。

（1）は、平成２０年 1 月に高等学校の（2）の改善について答申を行った。この答申を踏まえ、平成２０年３月２８日に（3）を改正するとともに、平成２１年３月９日には、高等学校学習指導要領を公示した。
この学習指導要領は、平成２５年４月１日の入学生から（4）により段階的に適用することとしている。

情報教育の目標は、三つの観点に整理されているが、①「情報活用の実践力」は、（5）や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・（6）・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・（7）できる能力、②「情報の科学的な理解」は、情報活用の基礎となる（8）の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を（9）・改善するための基礎的な理論や方法の理解、③「情報社会に参画する態度」は、社会生活の中で情報や情報技術が果たしている（１０）や及ぼしている影響を理解し、情報（１１）の必要性や情報に対する責任について考え、（１２）情報社会の創造に参画しょうとする態度、と定義付けている。

社会の情報化により、（１３）を活用して誰でも膨大な情報を収集することが可能となった。他方、こうした情報化の光の部分のほか、情報化の（１４）も子どもたちに大きな影響を与えている。インターネット上の「(１５)」への書き込みによる誹謗中傷やいじめ、（１６）の流出やプライバシーの侵害、インターネット犯罪や（１７)、ウイルス被害に巻き込まれるなど様々な問題が挙げられる。　これらの問題への対応については、家庭の果たすべき（１８）も大きく、学校では家庭と（１９）しながら、情報モラルの育成、（２０）等に関する知識の習得などについて指導することが重要である。

今回の改訂では、共通教科情報科の科目として、「情報の科学」、「(２１)」の２科目で構成されている。
共通教科情報科はこれまでどおり（２２）に履修させる教科であり、生徒の能力・(２３)、多様な興味・関心、進路希望等に応じて、２科目のうち１科目を（２４）させることとしている。各学校においては、今回の改訂の趣旨を踏まえ、学校でいずれかの科目を決めてしまうのではなく、両科目を開設して（２５）が主体的に選択できるようにすることが望まれる。

共通教科情報科の科目「社会と情報」の目標は、次のように示されている。
情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解させ、（２６）や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、（２７）、表現するとともに効果的に（２８）を行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。

科目「情報の科学」では、この科目のねらいとして、情報社会の（２９）に主体的に寄与する能力と態度を育てることにある。
また、「情報の科学」では、問題解決との関わりの中で、情報機器や（３０）を効果的に活用するための知識と技能を習得させるが、ただ単に（３１）の作業を行わせるというだけでなく、そこで利用されているコンピュータによる処理手順の（３２）、論理的な考え方、統計的な（３３）の扱い方などを様々な場面で生かせる応用力を習得させる。

専門教科情報科の目標は、次のとおりである。
情報の各分野に関する基礎的・（３４）な知識と技術を習得させ、現代社会における情報の意義や役割を理解させるとともに、情報社会の諸課題を主体的、合理的に、かつ（３５）をもって解決し、（３６）と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

専門教科情報科に関する科目構成ついては、改訂前の（３７）科目を以下の１３科目とする。
「情報産業と社会」、「課題研究」、「情報の表現と管理」、「情報と（３８）」、「情報テクノロジー」、「アルゴリズムとプログラム」、「（３９）システム」、「データベース」、「情報システム実習」、「情報メディア」、「情報デザイン」、「表現メディアの（４０）」、「情報コンテンツ実習」

これらのうち、「情報と問題解決」、「情報テクノロジー」、「（４１）」、「情報メディア」の４科目は、新設科目である。現行の「情報実習」及び「（４２）」の２科目は削除した。
また、従前の「（４３）」、及び「マルチメディア表現」を「（４４）」に整理統合した。
「（４５）」を「情報の表現と管理」に、「（４６）」を「アルゴリズムとプログラム」に、「コンピュータデザイン」を「（４７）」に、「情報システムの開発」を「情報システム実習」に、「マルチメディア表現」を「（４８）」とそれぞれ科目の名称変更を行った。

なお、基礎的科目である「情報産業と社会」と総合的科目である「（４９）」は、情報に関する各学科においては、（５０）科目である。

情報科教育法Ⅰ　レポート課題(H30)　解答用紙

1		26	
2		27	
3		28	
4		29	
5		30	
6		31	
7		32	
8		33	
9		34	
10		35	
11		36	
12		37	
13		38	
14		39	
15		40	
16		41	
17		42	
18		43	
19		44	
20		45	
21		46	
22		47	
23		48	
24		49	
25		50	

情 報 科 教 育 法 Ⅱ	担当教員：櫻　田　昭　夫	２単位

設　題

次ページ以降の問題を解くこと。

作成方法は「筆記」のみ

筆　記	筆記用具：ボールペン(黒色)・鉛筆・シャープペンシル(ＨＢ・Ｂ)、「サインペン・筆ペン」の使用は認めない
	用　　紙：次ページ以降の問題文のあとにある専用解答用紙を印刷して使用すること
注意事項	丁寧に読みやすい字体で書くこと。

情報科教育法Ⅱ　レポート課題(H30)「**レポート採点票**の**レポート課題欄**に必ず **H30**と書くこと」

教科書及び学習用プリントを参照して、以下の文章の（　　）内に入れるべき最も適切な語句を解答用紙に記入し、提出せよ。

共通教科情報科の実習については、“今回の改訂において、義務教育段階で（1）の活用経験が浅い生徒でも十分履修することができることを想定して設置した「（2）」を発展的に解消し（3）にしたことに伴い、これまで明示していた各科目における（4）に配当する（5）の割合は示さないこととし、この割合については各学校の実情に応じて（6）に設定できるようにしたものである。”と説明されている。

内容の取扱いについての配慮事項では、次のように示されている。

⑴各科目の指導においては、内容の全体を通じて知的財産や個人情報の保護などの（７）の育成を図ること。

⑵各科目の指導においては、内容の全体を通じて体験的な学習を重視し、（８）な能力と態度の育成を図ること。

⑶授業で扱う（９）などについては、情報技術の進展に対応して（１０）見直しを図ること。

学習評価は、意図した（１１）が行われたかどうかを一定の基準に照らして判定することであり、生徒たちへの（１２）を主目的としている。いわゆる「（１３）」とは異なる点に注意を要する。

学習評価に求められる要件として、客観性、公平性、（１４）があり、その観点として、絶対評価、（１５）、到達度評価、個人内評価などがある。

共通教科情報科における指導計画の作成に当たっての配慮事項は、次の５つの項目で示されている。

⑴他の各教科・科目等との（１６）について

⑵実習を（１７）に取り入れることについて

⑶原則として（１８）で履修させることについて

⑷（１９）と望ましい習慣について

⑸公民科及び（２０）などとの連携について

指導計画の具体的な作成については、学習用プリントに説明されている。マスタープランである（２１）により必要な機器、設備等の（２２）は、これをもとに計画されることもあり、（２３）に作成されることが望ましい。

単元毎の指導計画では、単元の（２４）を実現するための活動、および達成を（２５）するための活動を中心にwhatを記述していく。
（２６）では、本時の目標達成に向けた生徒の活動と、それに対する（２７）の支援をhowの視点から記述していく。

専門教科情報科の（２８）科目「課題研究」の目標は、「情報に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の（２９）、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、（３０）な学習態度を育てる。」となっており、その内容は、次の４つの項目から構成されている。

⑴調査、研究、実験、⑵作品の制作、⑶産業現場等における実習、⑷（３１）
また、内容の構成及び取扱では、留意事項として次のように示されている。

ア 生徒の興味・関心、（３２）等に応じて、内容の⑴から⑷までの中から個人又はグループで適切な（３３）を設定させること。なお、課題は⑴から⑷までの（３４）以上にまたがる課題を設定することができること。
イ 課題研究の成果について（３５）の機会を設けるようにすること。

教育課程編成の一般方針では、特に、今回の改訂においては、学校の（３６）を進めるにあたっては「各学校において、生徒に（３７）をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かし（３８）ある教育活動を展開する中で、（３９）な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、（４０）その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、（４１）を生かす教育の充実に努めなければならない。その際、生徒の（４２）を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の（４３）を確立するよう配慮しなければならない。」ことが示されている。

情報に関する学科の各科目の指導計画の作成に当たっての配慮事項として、次の３項目を挙げている。
⑴（４４）に関する各学科においては、「（４５）」及び「課題研究」を原則としてすべての生徒に履修させること。
⑵情報に関する各学科においては、（４６）として情報に関する科目に配当する総授業時数の（４７）以上を実験・実習に配当すること。
⑶地域や産業界との（４８）を通じた実践的な学習活動や（４９）を積極的に取り入れるとともに、（５０）を積極的に活用するなどの工夫に努めること。

情報科教育法Ⅱ　レポート課題(H30)　解答用紙

1		26	
2		27	
3		28	
4		29	
5		30	
6		31	
7		32	
8		33	
9		34	
10		35	
11		36	
12		37	
13		38	
14		39	
15		40	
16		41	
17		42	
18		43	
19		44	
20		45	
21		46	
22		47	
23		48	
24		49	
25		50	

商 業 科 教 育 法 Ⅰ	担当教員：阿　部　　諭	２単位

設　題

次の課題について答えなさい。

１．これからの商業教育ではどのような「職業人」や「人材の育成」を目指しているか、中央教育審議会答申の中で示された「職業に関する各教科・科目の改善について」（教科書 P2･3）及び、教科の目標の改善(教科書 P4･5)等から目指している内容（理由）等も含めて述べなさい。（500 字以内）
（レポート作成等にあたって：答申等に示された内容や改善された目標の文言等の理解を深め、教科書等のまる写しをしないこと。）

２．科目「ビジネス基礎」について

(1) 原則履修科目に位置付けられている理由を述べなさい。（150 字以内）

(2) この科目を指導する上での留意点を４点以上箇条書きで挙げるとともに、あなたはこの科目を指導するに当たって、どのような指導を心掛けますか。（箇条書き分を除き 200 字以内）

(3) 教科書 P12.2 の内容(1)商業の学習のガイダンスの「ア.商業を学ぶ目的と商業の学び方」を踏まえて、入学間もない１年生にも分かるような言葉で述べなさい（450 字以内）

（レポート作成等にあたって：原則履修科目については「理科教育及び産業教育審議会」答申や P11 の「ビジネス基礎」等を参照する。「課題研究(P16)」についてもその理由を調べておく。実際に指導する上での留意点を教科書 P11･12「指導に当たっては、～」より探してください。指導項目や指導内容ではありません。ビジネス基礎は商業科の基礎的・基本的な内容ですから十分に精通しておくことが大切です。）

３．商業科目を分野ごとに編成すると、マーケティング分野、ビジネス経済分野、会計分野、ビジネス情報分野に分けられる。各分野のねらいと、各分野がどのような能力の育成を目指しているかを述べなさい。（各分野別に 200 字以内）

（レポート作成等にあたって：各分野に属する科目を整理し、各分野に属する科目のねらいや学習指導要領改訂の趣旨、要点及び商業の目標等からまとめる。また、育成する能力は教師として各科目を指導する上で、留意していくことが大切である。各分野の科目構成や科目ごとのねらいではなく、まとめることが大切である。）

４．「総合的な学習の時間」と「課題研究」のねらいをそれぞれ挙げ（箇条書きで各３つ以上）比較するとともに、「職業教育を主とする学科における総合的な学習の時間の特例」（総則第３款の２の(3)）を適用する場合、どのようなことに留意したらよいかを述べなさい。（各箇条書き分を除き 250 字以内）

（レポート作成等にあたって：「課題研究」の内容の構成を記述するものではありません。専門高校に以前からあった「課題研究」の内容等が「総合的な学習の時間」の見本となったといわれている。また、なぜこのような特例が設けられたのかを考えると同時に特例の理解を深めておくこと。）

（注）教師の指導力不足や不祥事などで、信頼性が揺らぐなど教師の質が問われています。全ての課題は本当に教師を目指す強い気持ちや教師になったつもりで述べてください。

また、試験はレポート課題領域から可能な限り出題しますので、単にレポートを作成のためだけでなくレポート課題領域を広く調べ、理解を深めておくことが大切です。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：本学通信教育部の標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　記	筆記用具：ボールペン（黒）・万年筆（黒・青）
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙
文字数等	課題ごとに指示する・横書き
注意事項	筆記の場合、鉛筆・シャープペンシルは不可。

商 業 科 教 育 法 Ⅱ	担当教員：阿　部　　諭	２単位

設　題

次の課題について答えなさい。

１．専門高校においては将来のスペシャリストとして必要な専門性の基礎・基本の重視が謳われている。教科「商業」においても「将来のスペシャリストとして必要とされる専門性の基礎的・基　本的な知識・技術の習得」などの文章で述べられている。この教科「商業」でいわれている文章　と「生きる力」との関わりについて考察し、考察したことを述べなさい。また、あなたはこのことにどのように取り組むかも述べなさい。(500 字以内)

(レポート作成等にあたって：教科書の「学習指導要領とその理解」の中の特に教科「商業」の理解及び「商業教育と人間形成」の「生きる力」の育成等を参照する。また、このような人材を育成するためには、商業科教師としてどのようにあるべきか、どのように取り組むかを考えて述べ　る。)

２．学習指導においては、生徒の自発的、積極的な学習態度を育成することが課題である。生徒の自発的、積極的な学習態度を形成するために、指導形態や指導方法に創意工夫することが必要である。

　商業の一科目（課題研究、総合実践を除く）を選び、「生徒が自発的、自主的に学習に取り組む」ためのあなたの学習指導を、指導形態、指導方法を踏まえ述べなさい。(500 字以内)

(レポート作成等にあたって：指導形態、指導方法の長所や短所を理解して、実際に授業で生徒を指導する場面を考えて述べること。)

３．評価に関することについて

⑴　絶対評価と相対評価について、各評価はどのような評価か。それぞれの長所と短所を含めて述べなさい。(500 字以内)

⑵　観点別評価について述べなさい (200 字以内)

⑶　「指導と評価の一体化」とはどのようなことか。(300 字以内)

(レポート作成等にあたって：観点別評価に関しては教科書に記載されているが、その他評価に関しては余り記載されていない。評価全般については教育関係書や文部科学省等の答申等を参考にする。評価について幅広く調べ、評価と評定との関係についても調べておく。)

４．学習指導にあたって学習指導案と教材研究は欠くことのできないものである。学習指導案とは何かと、学習指導案の授業展開を示す「導入部」「展開部」「まとめ部」に分け、留意すべき事項を箇条書きで、出来る限り多く挙げなさい。(箇条書き分を除き 200 字以内)

(レポート作成等にあたって：実際に 50 分の授業を進めて行く中での留意すべき事項を具体的に挙げてください。ただし、学習指導案は特定の教科科目ではなく、一般的・共通的な指導案を想定して記述してください。)

(注)　全ての課題は教師を目指す強い気持ちや教師になったつもりで述べてください。
　　また、試験はレポート課題領域から可能な限り出題しますので、単にレポートを作成のためだけでなくレポート課題領域を広く調べ、理解を深めておくことが大切です。

作成方法は「ワープロ（推奨)」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：本学通信教育部の標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　　記	筆記用具：ボールペン（黒)・万年筆（黒・青）
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙
文字数等	課題ごとに指示する・横書き
注意事項	筆記の場合、鉛筆・シャープペンシルは不可。

数 学 科 教 育 法 Ⅰ	**担当教員：**林　　雄一郎	２単位

設　題

次の課題について答えてください。

１．平成 21 年 3 月に公示された高等学校学習指導要領・数学における第４節第１款にある「数学科目標」に示されたことを解釈し、これからの数学教育の方向性を論じてください。

２．数学の学習によってどのような人格形成が期待できるかについて論じてください。

３．数学Ⅰ、数学Aには「課題学習」がありますが、この学習においてどのような数学的活動が行われ得るかを論じ、課題学習の具体的な例題をあげて下さい。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部の標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　記	筆記用具：ボールペン・万年筆
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙、コピー用紙等（無地）
文字数等	設題毎に 1,000 文字～1,200 文字（図表を含まない）・横書き
注意事項	・課題番号を記入する。 ・引用文献は末尾に記入すること。 ・論述する内容は整理し、項立てを行い、小見出しを付けて記述すること。 ・必ず読み返しを行い、誤字、脱字等なきよう留意すること。 ・設問ごとに文字数を記入すること。

数 学 科 教 育 法 Ⅱ	担当教員：林　　雄一郎	２単位

設　題

次の課題について答えてください。

１．各科目の指導に当たっては、必要に応じてＩＣＴ（コンピュータや情報通信ネットワーク）の 適切な活用が図られ、学習の効果を高めるよう高等学校学習指導要領にも記載（第３款「各科目 のわたる指導計画の作成と内容の取扱い」）があるが、あなたはこれをどのように考え、また指 導に生かすか例題をあげて具体的に説明して下さい。

２．「数学Ⅰ」の「データの分析」の「データの散らばりと四分位数」についての授業指導案と板 書計画を書いて下さい。

（作成上の留意点）
- 教科書の該当部分は「詳説数学Ⅰ」の 186 ～ 197 頁である。
- 指導案は次ページ以降にある様式に基づいて作成する（ワープロ可）。
  この様式で「単元計画」は「データの分析」という単元の計画である。
- 授業評価には教授活動と学習活動の評価が含まれる。
- 授業を行う際に使用する副教材類（プリント教材など）を添付する。
- 板書計画には、指導教材内容を板書スタイルで記載し、番号①～⑥を該当の教授活動欄に記入する。
  （板書計画が多い場合は、⑦、⑧…と追加しても良い。）

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部の標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　　記	筆記用具：ボールペン・万年筆 用　　紙：市販のレポート原稿用紙、コピー用紙等（無地）、及び次ページ以降の専用様式
文字数等	設題毎に 1,000 文字～1,200 文字（図表を含まない）・横書き
注意事項	・課題番号を記入する。 ・引用文献は末尾に記入すること。 ・論述する内容は整理し、項立てを行い、小見出しを付けて記述すること。 ・必ず読み返しを行い、誤字、脱字等なきよう留意すること。 ・設問ごとに文字数を記入すること。 ・板書計画は B4 版に拡大してもよい。また、不足する場合はさらにつけ足してよい。

学 習 指 導 案　　学籍番号（　　）氏名（　　）

単 元 名				
単元指導目標				
単元授業計画 （配当時間）				
本時の目標				
ねらい （本時の指導計画）	時間 配分	教師の教授活動	生徒の学習活動	指導上の留意点
授業評価の観点				

板書計画

①	②
③	④
⑤	⑥

数 学 科 教 育 法 Ⅲ	担当教員：林　　雄一郎	２単位

設　題

次の課題について答えてください。

1.各領域の指導に当たって、必要に応じてＩＣＴ（コンピュータや情報通信ネットワーク）の 適切な活用が図られ、学習の効果を高めるよう中学校学習指導要領に記載（第３「指導計画の作成と内容の取扱い」があるが、①あなたはこれをどのように受け止めるか、また②どのように指導を行うかについて具体例を挙げて説明して下さい。

2.第３学年「関数」の「関数 $y = ax^2$」についての指導案と板書計画を書いて下さい。

（作成上の留意点）
- 教科書の該当部分は「中学数学３」p. 100～p. 119 である。
- 指導案・板書計画は１コマ分（５０分）とし、次ページ以降にある様式で作成する。
  「単元計画」は３学年「関数」の計画である。
- 授業目標は本時に行う授業のものとする。
- 指導案には該当する板書計画の番号を記載する。
- 授業評価には教授活動と学習活動の評価がある。
- 板書計画には本時の板書の教材内容をすべて記載する。
- 授業で使う副教材類(プリント教材など)を添付する。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部の標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　　記	筆記用具：ボールペン・万年筆
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙、コピー用紙等（無地）、及び次ページ以降の専用解答用紙を印刷して使用すること
文字数等	設題毎に 1,000 文字～1,200 文字（図表を含まない）・横書き
注意事項	・課題番号を記入する。 ・引用文献は末尾に記入すること。 ・論述する内容は整理し、項立てを行い、小見出しを付けて記述すること。 ・必ず読み返しを行い、誤字、脱字等なきよう留意すること。 ・設問ごとに文字数を記入すること。 ・板書計画は B4 版に拡大してもよい。また、不足する場合はさらにつけ足してよい。

学 習 指 導 案　　学籍番号（　　）氏名（　　）

単 元 名				
単元指導目標				
単元授業計画 （配当時間）				
本時の目標				
ねらい （本時の 指導計画）	時間 配分	教師の教授活動	生徒の学習活動	指導上の留意点
授業評価の 観点				

板書計画

①	②
③	④
⑤	⑥

数 学 科 教 育 法 Ⅳ	担当教員：林　　雄一郎	２単位

設　題

次の課題について答えてください。

１．小学校算数科目標と高等学校数学科目標との関連を踏まえながら、中学校の数学科目標を文節ごとに論じなさい。

２．「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の四領域の内容相互の関連を論じなさい。

３．数学的活動と課題学習の関連について論じなさい。また、課題学習の具体例を考えその展開方法について記しなさい。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部の標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　記	筆記用具：ボールペン・万年筆
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙、コピー用紙等（無地）
文字数等	設題毎に 1,000 文字～1,200 文字（図表を含まない）・横書き
注意事項	・課題番号を記入する。 ・引用文献は末尾に記入すること。 ・論述する内容は整理し、項立てを行い、小見出しを付けて記述すること。 ・必ず読み返しを行い、誤字、脱字等なきよう留意すること。 ・設問ごとに文字数を記入すること。

数 学 科 教 育 法 Ⅴ	担当教員：林　　雄一郎	2単位

設　題

次の課題について答えてください。

1．中学校数学の指導におけるグラフソフトの有効性について論じなさい。

2. 「中学数学」の教科書（教育出版）の任意の単元を選び、GRAPES を用いて教材を作成するとともに、それを用いる指導案を作成し、説明を加えなさい。
なお、説明のために画面（GRAPES グラフウインドウ（エリア）画面、データパネル画面の両方）、操作の途中の画面の幾つかを印刷し添付しなさい。（印刷については GRAPES パーフェクトガイド p.135～136 参照）
また、指導案は次ページ以降にあるものを用いる。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部の標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　　記	筆記用具：ボールペン・万年筆
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙、コピー用紙等（無地）、及び次ページ以降の専用解答用紙を印刷して使用すること。
文字数等	設題毎に 1,000 文字～1,200 文字（図表を含まない）・横書き
注意事項	・課題番号を記入する。 ・引用文献は末尾に記入すること。 ・論述する内容は整理し、項立てを行い、小見出しを付けて記述すること。 ・必ず読み返しを行い、誤字、脱字等なきよう留意すること。 ・設問ごとに文字数を記入すること。 ・板書計画は B4 版に拡大してもよい。また、不足する場合はさらにつけ足してよい。

学 習 指 導 案　　学籍番号（　　）氏名（　　）

単 元 名				
単元指導目標				
単元授業計画 （配当時間）				
本時の目標				
ねらい （本時の 指導計画）	時間 配分	教師の教授活動	生徒の学習活動	指導上の留意点
授業評価の 観点				

板書計画

①	②
③	④
⑤	⑥

道徳教育の理論と実践	担当教員：日下部　憲一	２単位

設　題

次の課題について答えてください。

設問Ⅰ　学習用プリントを参考にしながら、次の設問に答えなさい。字数は各８００字～１２００字程度。

1　道徳教育の意義を論じるとともに、道徳教育の充実に向けどのような取り組みが求められているか、あなたの見解を述べなさい。
2　道徳の時間の指導について論じるとともに、道徳の時間の充実に向けどのような取り組みが求められているか、あなたの見解を述べなさい。

設問Ⅱ　学習用プリントを参考にしながら、私たちの道徳（中学校）に掲載されている読み物資料「ネット将棋」の学習指導案（A４版の略案）を作成しなさい。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部の標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　記	筆記用具：ボールペン・万年筆
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙、コピー用紙等（無地）
文字数等	設題毎に 800 文字～1,200 文字（学習指導案を除く）・横書き
注意事項	・課題番号を記入する。

特　別　活　動　論	担当教員：真　鍋　孝　徳	2単位

設　題

下記の課題について、教科書「特別活動のフロンティア」より要約して、レポートを作成してください。

1．「学校、学級、学年経営と特別活動」について要約してまとめよ。 (15 ページ～21 ページ)

2．高等学校の特別活動の内容（領域）は、①ホームルーム活動、②生徒会活動、③学校行事に分けられる。この三つの分野について、それぞれの活動の概要をまとめなさい。 (102 ページ～123 ページ)

3．「特別活動の意義と特色」について要約してまとめよ。 (2 ページ～8 ページ)

作成方法は「ワープロ」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　記	筆記用具：特に指定しない
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙
文字数等	文字数の制限はしない　横書き

教育の方法と技術	担当教員：椿　達	２単位

設　題

次の２題について答えてください.

1 第２講～第４講の演習課題への解答をまとめ，時代や社会の変化とともに，教育方法の理論や教授法の実践がどのように展開してきたのかについて説明しなさい.

2 第８講の演習課題（8－2）「学校教育における授業を『知識・情報・技術・技能などの伝達』に力点を置くか，または『子どもの自発的・自主的・自律的学習活動の支援』の視点から考えるかという２つの立場について，それぞれの趣旨とメリットとデメリットなどを簡潔に説明しなさい」の解答を記しなさい。またそのことを踏まえ，次期学習指導要領におけるキーワードの 1 つである「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）の視点からの授業改善の推進について、あなたの考えを述べなさい。さらに、このことや本科目で学んだことを踏まえて、あなたが教師としてどのような教科指導（授業）を実施していきたいと考えているか、あなたが理想とする授業像について述べなさい.

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部標準フォーマット（A4 縦判）、コピー用紙等（無地）
筆　記	筆記用具：ボールペン 用　　紙：コピー用紙等（無地）
文字数等	■　字数は制限なし. ■　通信教育部標準フォーマットの形式に従って作成・印刷すること.
注意事項（形　式）	■　１行目に学籍番号，氏名を明記する. ２行目：　空行 ３行目から設問番号を記し、解答内容の記述していくこと. ■　解答に教科書以外からの文献等の参考や引用があれば，各設問の解答の最後に「参考・引用文献」を記述すること.

生　徒　指　導	担当教員：五　浦　　哲　也	２単位

設　題

以下の課題より３問を選び、レポートを作成してください。

１．生徒指導の定義と３つの機能についてまとめなさい。

２．児童生徒理解について方法や影響する要因についてまとめなさい。

３．生徒指導に関する生徒懲戒、体罰、出席停止について法令を基にまとめなさい。

４．いじめの定義や構造と対応についてまとめなさい。

５．不登校の歴史、実態や対応についてまとめなさい。

６．少年非行の波や非行モデルと非行少年の少年事件処理手続きの流れについてまとめなさい。

７．児童生徒の自立を促す予防・開発的な生徒指導の手法についてまとめなさい。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部標準フォーマット･コピー用紙等（無地）
筆　記	筆記用具：特に指定しない
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙
文字数等	文字数の制限はしない　横書き

進　路　指　導	担当教員：椿　　達	２単位

設　題

次の２題について答えてください。

1 「進路指導」と「キャリア教育」の関係について説明しなさい。（第５講参照）

2 高校生のキャリアプランニング、すなわち「将来を展望し、自らのキャリアを設計すること」について、教科書Ｂにおける著者の主張をまとめなさい。また、その主張に対するあなたの考えを述べ、あなたが教師として生徒に「キャリアプランニング」を考えさせる授業をするとしたらどのような構想で展開するのかについて述べなさい（指導案を作成してもよい）。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部標準フォーマット（A4 縦判）・コピー用紙等（無地）
筆　記	筆記用具：ボールペン
	用　　紙：コピー用紙等（無地）
文字数等	■字数は制限なし. ■通信教育部標準フォーマットの形式に従って作成・印刷すること.
注意事項	■１行目に学籍番号，氏名を明記する. ２行目：　空行 ３行目から解答内容の記述. ■各設問の解答の最後に「参考・引用文献」を記述すること.

学 校 教 育 相 談	担当教員：中　村　正　巳	２単位

設　題

設問Ⅰ　「学習プリント集」の『教師のたまごのための教育相談』学習内容（演習問題）から以下 のように出題します。ご自分の考えも添えて書きなさい。**(各設問 400 字程度)**

①　(1)から(5)の単元の演習問題、18 問から１つを選び、テキストや他の文献から理解した解答を書きなさい。

②　(6)から(8)の単元の演習問題、16 問から１つを選び、テキストや他の文献から理解した解答を書きなさい。

③　(9)から(13)の単元の演習問題、16 問から１つを選び、テキストや他の文献から理解した解答を書きなさい。

設問Ⅱ　「学習プリント集」２の④、『教育カウンセリングとイノベーション』を読破して、理解し 気づいたことや意見を書きなさい。**(1000 字程度)**（試験に出題予定）
（必ず、著書の題名、著者、出版社、発行年を記入すること）

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　　記	筆記用具：ボールペン（黒）・鉛筆・シャープペンシル（HB）
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙
文字数等	設問毎に指定、横書き
注意事項	・テーマを的確に理解して、適当な段落で文章を構成すること。 ・テーマの内容は教科書だけでは十分に答えられないものもある。他の文献などにもあたり、作成すること。 ・教科書又は他の文献の丸写しは不可です。自分が理解した言葉で書きなさい。 ・必ず作成した原稿を読み返して、誤字・脱字等のないように留意しなさい。

特 別 支 援 教 育 論	担当教員：五　浦　　哲　也	２単位

設　　題

以下の課題１、２より１問、課題３、４、５より１問、６、７、８より１問の合計３問を選び、レポートを作成してください。

１．ＩＣＩＤＨの障害構造モデルと国際生活機能分類（ＩＣＦ）の障害モデルの違いについて説明し、インクルーシブ教育に向けた特別支援教育についてＩＣＦの観点からどのように合理的配慮を進めていけばよいと考える具体例を挙げて述べなさい。

２．個別の教育支援計画と個別の指導計画について説明し、教科書Ｐ30 のグラフのように個別の教育支援計画と個別の指導計画の実施率がなぜ低いと考えるか具体的に述べなさい。

３．LD の子どもの特性を記述し、通常の学級において、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するのいずれか１つが苦手なＬＤの子どもを選択し、具体例を挙げて支援の方法や配慮の在り方について、自分の考えを述べなさい。

４．ADHD の子どもに処方されている薬について説明し、服薬の効果があるときに学校現場において、どのようなことに配慮して対応していきますか。通常の学級における状態像の具体例を挙げて、自分の考えを述べなさい。

５．自閉症の子どもの特性を記述し、通常の学級における構造化や見通しを持たせることについて具体例を挙げて支援の方法や配慮について、自分の考えを述べなさい。

６．吃音について説明し、通常の学級における具体的な支援方法や配慮について調べ、担任としてどのような支援や配慮が必要であるかを述べなさい。

７．音の聞こえのしくみと２つの難聴（伝音難聴、感音難聴）について説明し、通常の学級において担任としてどのような支援や配慮が必要であるかを具体的に述べなさい。

８．知的障害のある子どもの特性を記述し、具体的な支援方法や配慮について調べ、担任としてどのような支援や配慮が必要であるかを述べなさい。

作成方法は「ワープロ（推奨）」又は「筆記」

ワープロ	用　紙　等：通信教育部標準フォーマット・コピー用紙等（無地）
筆　　記	筆記用具：特に指定しない
	用　　紙：市販のレポート原稿用紙
文字数等	文字数の制限はしない　横書き